

# 看護 青い森

vol.  
**114**  
発行日  
2023. 1. 23



## ナースセンターだより

### INDEX

- 会長あいさつ
- 第51回青森県看護学会／看護業務効率化取組報告会
- 医療的ケア児対応看護職を支援します!![第2弾]
- 看護大学進路説明会／高校生1日看護体験
- 働き方改革推進フォーラム／看護補助者レベルアップ研修会／訪問看護推進研修会／助産師活用推進事業
- 認定看護管理者教育課程サードレベル
- 職能委員会コーナー
- 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応看護職員の人材確保業務実施状況
- 母子保健奨励賞受賞者のご紹介
- 支部だより
- ナースセンターだより

令和4年度 会員数 8,701人 (昨年1月比 +42人) (令和5年1月6日現在)	保健師 234人 昨年1月比 -7人	助産師 330人 昨年1月比 +7人	看護師 7,808人 昨年1月比 +59人	准看護師 329人 昨年1月比 -17人
---	-----------------------	-----------------------	--------------------------	-------------------------

## 会長あいさつ

公益社団法人青森県看護協会 会長 榎谷京子

新年明けましておめでとうございます。3年ぶりに行動制限のないお正月を健やかに迎えのことに存じます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

卯年にあやかり皆様にとって飛躍の一年になり、そして新型コロナウイルス感染症から解放された春が来ることを願うばかりです。

会員の皆様のご支援を賜り感染予防対策に努め、当協会の各種事業を実施して参りました。中でも、県内の看護職を支えると共に、行政や関係団体と連携したコロナ対策関連事業の推進には誠心誠意努めて参りました。また、コロナと対峙し精一杯取り組んでいる看護職の姿から多くのことを学ぶ機会になりました。

この様な状況にあっても病院の機能分化と連携、地域完結型医療への転換など地域包括ケアが徐々に形成されつつあり、私たちは全世代型地域包括ケアの推進に向けてあらゆる場で看護の専門性を発揮できるよう取り組んで参ります。

人口減少、少子高齢化が全国を上回るスピードで進んでおり、新たな局面を迎えています。人生100年時代を迎え、働き方改革やプラチナナース等あらゆる世代の看護職の活躍の場の拡大に努めると同時に、看護の質向上と看護の可能性の探求が求められています。そのためには既成概念にとらわれずに看護の専門性をより発揮することが期待されています。

看護の処遇改善については、人事院規則が改正され、国家公務員医療職俸給表（三）の級別標準職務表が見直されたことは歴史的なことです。これを契機として、官民を問わず、すべての看護職員の処遇改善の取り組みを強力に推進して参りましょう。

青森県看護協会は、今年も県民の皆様の健康と福祉の向上に貢献できるよう活動を推進して参ります。ご支援を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。



## 2023年度（令和5年度）青森県看護協会改選役員の立候補受付について

青森県看護協会では、定款第22条、第23条及び定款細則第6条、第7条、第9条に基づき以下のとおり改選します。これに伴い、立候補しようとする方は、正会員5名以上の推薦を受けて、総会2か月前までとなる2023年（令和5年）4月17日（月）までに青森県看護協会総務課まで届け出てください。

届出に係る用紙は総務課までお問い合わせください。

- |                    |                     |                   |
|--------------------|---------------------|-------------------|
| ● 第一副会長 …………… 1名   | ● 看護師職能Ⅱ理事 …………… 1名 | ● 地区理事（上十三支部）… 1名 |
| ● 第二副会長 …………… 1名   | ● 地区理事（三八支部） …… 1名  | ● 准看護師理事 …………… 1名 |
| ● 保健師職能理事 …………… 1名 | ● 地区理事（西北五支部） …… 1名 | ● 監事 …………… 1名     |

## 2023年度日本看護協会代議員および予備代議員の立候補受付について

青森県看護協会では、以下の通り2023年度の代議員・予備代議員の選出を行います。これに伴い、立候補しようとする方は、正会員5名以上の推薦を受けて、総会2か月前までとなる2023年（令和5年）4月17日（月）までに青森県看護協会総務課まで届け出てください。

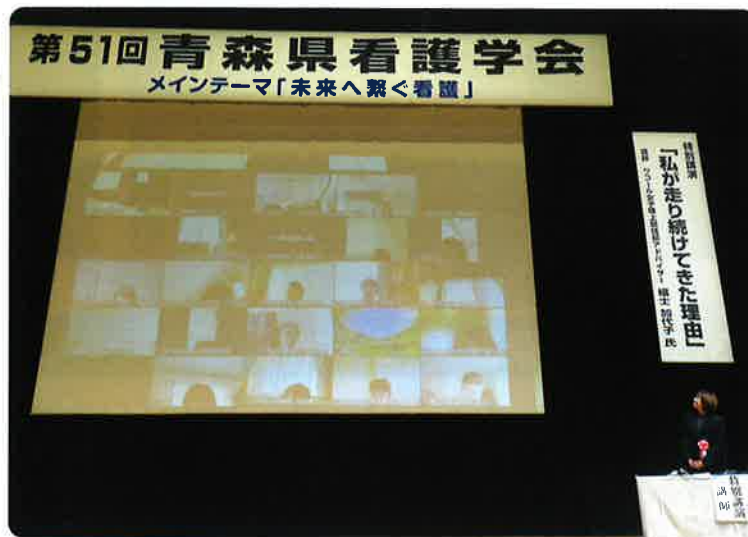
代議員：9名 ・ 予備代議員：9名

立候補に際しては、代議員としての抱負を含む立候補理由を120字以内にまとめて添付してください。届出用紙については総務課までお問い合わせください。

# ハイブリッド開催!! 「第51回 青森県看護学会」

メインテーマ

## 未来へ繋ぐ看護



令和4年11月12日、「未来へ繋ぐ看護」をメインテーマに、第51回青森県看護学会がリンクモア平安閣市民ホールにて、ハイブリッド開催となり、会場とリモートで参加していただきました。

青森県看護協会榎谷会長の挨拶で開会となり、午前の特別講演では、本県板柳町出身、ワコール女子陸上競技部アドバイザーの福士加代子氏より、「私が走り続けてきた理由」と題し、ご講演いただきました。

陸上競技を始めたきっかけから、現在に至るまでの競技人生からの学び喜び、苦難そして、様々な方々との出会いについてお話しされ、高校の先生から言われた「負けたことに負けるな」という言葉が福士氏の支えになっていたことを満面の笑顔でお話しされていました。

質疑応答の時間では、「きつい」と思わず、楽に走れる方法を考えながら走るために、自分の中で遊びの引き出しを持っておくことが大事であることを話され、走り方や呼吸についても教えて下さいました。また、自分に素直でいること・自分を大切にすること・自分の言葉で言うことの大切さを話して下さいました。

福士氏の講演は、会場を笑顔と笑いに包む内容で、日々新型コロナウイルス感染症と向き合っている私たちにとって、自分自身の心身のバランスをとる必要性を改めて考える機会となり、ポジティブな思考とパワーも得られ、とても心に響く講演となりました。

特別講演の後、13題の口演発表が行われました。

口演では、清潔ケア、高齢者、認知症、患者や家族の思いに寄り添った内容など、実践に根差した有効性の高い題材が多く、未来へ繋ぐ看護が自信とエビデンスを持って続けられるようにと考える一日となりました。

コロナ禍で厳しい状況にもかかわらず県内各地から会場、リモート参加して下さった皆様に心より感謝いたします。

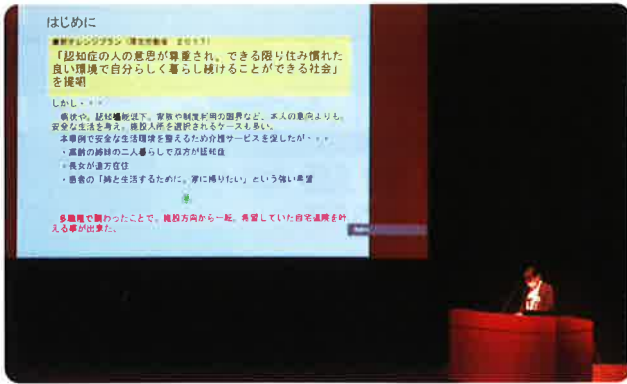
記：広報出版委員 小菅 仁子（メディカルコート八戸西）  
小林かおり（青森病院）



大きなジェスチャーで会場を笑いに包む福士氏



購入書籍へのサイン会



緊張しながらもしっかりと口演



会場からの活発な質問

## 第51回青森県看護学会顛末記

### ～ハイブリッドって、運営は結構大変だよねえ(´;ω;`)～

県学会会場として借りている青森市民ホールは、ネット環境が整っていません。イベントでネットを使用するには、某通信系会社に依頼し工事する必要があります。工事は、担当職員の立ち会いの下、使用会場を工事に必要な時間借り（賃借料発生）、イベントの数日前に行います。もちろん有料（¥100,000+α）です。

お金を使ってネット環境を整え、何日も前から時間を費やし準備しても、「映像が時々途切れた。」「有料なのだから、通信環境は整えてほしい」「カメラがチラチラして気が散る」などのご意見を頂きます。全ての方が満足する結果には至らないとは思っていますが、協会のありったけの「ヒト・モノ・カネ」を費やし、精一杯やった結果だけど、ハイブリッドは結構大変ということを一言、お話しさせていただきます。

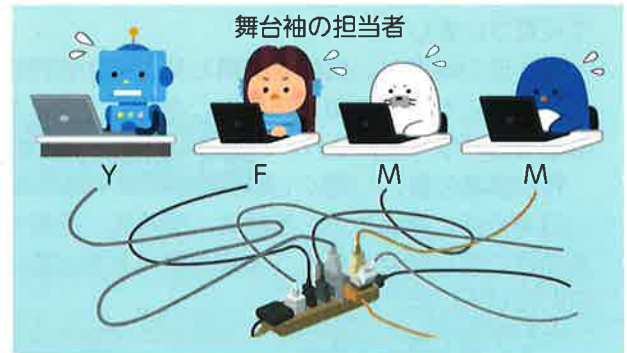
ハイブリッド開催は、集合かオンラインか選べて参加しやすいという大きなメリットがあります…が、運営する側は、集合する方、オンラインの方、2つの現場対応のための「ヒト」が必要になります。どちらにも同じように満足して頂けるように、音声やパワーポイントの共有は、モタモタやオロオロ感が出ないように運営しなきゃと気を遣います。担当課M&Mは持ち前の想像力を働かせ、シンプルな機材と細かな気配りでシナリオを作成し、実験(?)を繰り返し、とにかく失敗しない運営方法を練りました。前日準備の日になっても、本当に上手

くいくのか、これでいいのか？半信半疑（後は運を天にまかせだ～）だったというのが正直な心境でした。

…っと、言い訳がましいことは耳障りだと思いますので、この位にして、当日は、通信トラブルもなく、会場参加の皆さまにも感染対策にご協力いただき、体調不良もなく、担当者の睡眠不足（極度の緊張のため）を除けば、概ね成功裏に終わった学会でした。

皆さまのご支援ご協力に、この場をお借りして学会委員・協会職員一同より厚くお礼申し上げます。次回もハイブリッド開催を計画しています。さらに腕を磨いて運営するぞ～（って1年経つと色々忘れちゃうんですよねえ…何と何がつながってたのか、どうして上手くいったのか、もう、Y氏しか知らない…）!!

記：教育研修課長 岸田 公子



## 看護業務効率化の取組報告会が開催されました

【日時】 令和4年11月12日(土) 15:20～15:50

この事業は、厚生労働省の補助金事業、「都道府県看護協会 看護業務の効率化推進事業」として、日本看護協会が都道府県看護協会と連携して看護業務効率化推進事業を展開するもので、当協会を含む5道県が選出されました。

当日は、県学会に引き続き、3施設の看護業務効率化の取組を聞きました。県内各施設で、いろいろな取り組みが行われていますが、実際に発表を聞き、情報を共有したことで、自施設での取り組みを考えるきっかけになったと思います。

内容は、後日リーフレットを作成し各施設に送付予定です（ホームページでも公開予定）。皆様のご参加ありがとうございました。

記：青森県看護協会常務理事 佐藤 しのぶ



# 医療的ケア児対応看護職を支援します!! 第2弾

青森県看護協会では、様々な形で医療的ケア児の支援に携わる看護職を支援しています。10月号に続き、取り組み第2弾を紹介いたします。

## その4 医療的ケア児保育普及啓発フォーラム

10月31日(月) 保育所等の医療的ケア児受入れ促進を目的に、県こどもみらい課からの委託事業でフォーラムを開催し、講演・事例提供後にパネルディスカッションを行いました。

参加者数は33名でしたが、保育所や児童発達支援事業所、放課後デイサービス、訪問看護事業所、医療機関の他に、市町村担当者の方にも幅広く参加していただき

ました。

参加者からは、医療的ケア児が生まれ、育ち、成長して大人になっていくこのライフステージでも、周囲と連携し、皆がたくさんの選択肢を持てるようになっていけばよいと感じたなどの意見が聞かれました。

医療的ケア児ならびにご家族を支える仕組みづくりに今後も貢献していきたいと思えます。

**[講演]** 「本県における医療的ケア児支援の現状と課題及び小児に対する医療的ケアの留意点について」

**[講師]** 青森県立中央病院総合周産期母子医療センター成育科 部長 網塚 貴介氏



県内の受入事例紹介

新宮団地こども園・ひかり保育園

パネルディスカッション

\*進行役：網塚 貴介氏

パネリスト：

新宮団地こども園 園長	木村 重介氏
ひかり保育園 主幹保育教諭	紺野 香奈子氏
ひかり保育園 保育教諭	長谷地 奈保子氏
ひかり保育園 保育教諭	戸間替 未希氏
青森県小児在宅支援センター 小児看護専門看護師	奥寺 さおり氏
一般社団法人青森県保育連合会 大東保育園 園長	金子 泰雅氏
八戸市こども未来課 主幹	佐々木 勝江氏
医療的ケア児の保護者	高橋 早氏

## その5 在宅医療的ケア児支援初期研修

9月30日(金) リンクステーションホール青森にて、標記研修会を開催しました。

喀痰吸引、経管栄養や胃ろうの管理、人工呼吸器取り扱いについての講義・実技を行いました。33名の参加者からは、病院ではない実際の現場での話を聞いた、呼吸器の取り扱い、特に災害時の話などが聞けてとても参考になったとの感想が聞かれました。



## その6 在宅医療的ケア児支援フォローアップ研修

11月27日(日) アスパムにて医療的ケア児支援に関わる中の困りごとや解決方法等を共有し、看護師のスキルアップを図る目的で標記研修会を開催しました。

コロナウイルス感染拡大により参加者数は12名と少なめでしたが、淑徳大学 谷口由紀子先生の『医療的ケアにおける多職種連携での看護職の役割』についてのご講義がとても分かりやすく、大好評でした。

多職種の前に「同職種連携」がとても大事であることをお話しされ、参加者からもその重要性がとてもよく分かった、今現場で課題と思っていることを聞いた、来てよかった、連携という視点だけでなく、看護師としての子どもの捉え方も学ぶことができたといった感想が聞かれました。



# “未来のナース” 育成にご協力いただきありがとうございました

青森県看護協会では、未来の看護職育成に向け、職業選択の動機づけとすべく『看護大学進路説明会』、『高校生1日看護体験』を実施しております。

昨年度はコロナ禍のため開催を見合わせましたが、今年度は規模を縮小して開催しました。各医療機関や県内看護大学等のご協力により開催することができ、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

日時：令和4年7月30日(土) 13:00～15:00  
 場所：県民福祉プラザ 県民ホールにて  
 参加者：116名

## 看護大学進路説明会

### 看護の魅力伝えるトークセッション



保健師・助産師・看護師・看護学生とのトークセッションでした

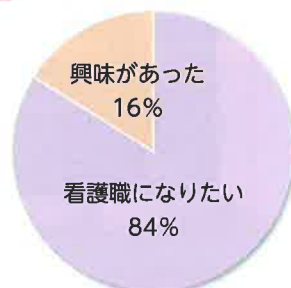


### 6校の看護大学のPR

- ◆ 看護の魅力伝えるトークセッション  
各職種の仕事内容や魅力  
看護学生に聞きたい受験対策 等
- ◆ 看護大学からのPR
- ◆ 質疑応答

- ◆ 配布コーナー  
看護大学パンフレット  
各種進学資料  
看護の日グッズ

### 参加理由



### 看護の道に進みたいと思ったか



### 感想

参加した高校生からは、現役看護学生の方がいたので、看護学生の生活について知ることができ参考になった。進路を考えるうえで、体験型イベントや看護師に質問できるようなイベントがあればよい、などの感想がありました。



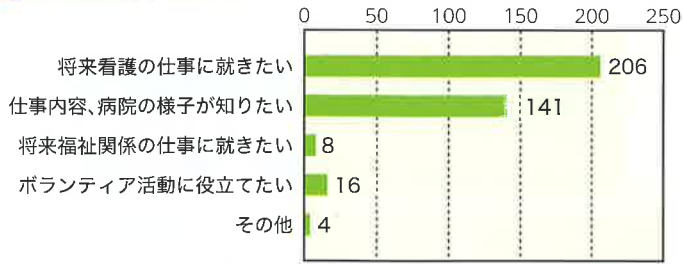
# 高校生1日看護体験

日 時：令和4年7月4日(月)～9月7日(水)

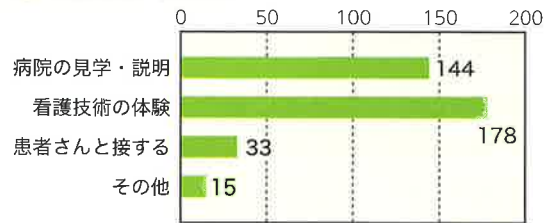
場 所：青森県内18病院

参加者：227名

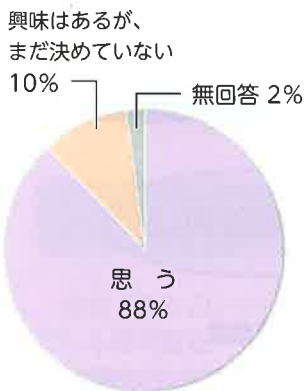
## 参加動機 (複数回答)



## 体験項目 (複数回答)



## 看護職になりたいと思ったか



## 感想(抜粋)

- \*看護師の仕事の動画を見て、常に感染症という危険ととなり合わせでいますが、患者のサポートをして退院まで短期間や長期間の間やりがいのもてる仕事をしているところにとても魅力を感じることができました。
- \*看護では技術や知識はもちろんだが、人にたいしての思いやりも大事だと改めて感じました。体験ができてよりいっそう看護師になりたいと思いました。
- \*簡単なケアを体験したが、患者さんに喜んでもらったりお礼を言ってもらったりしてとてもうれしかった。また、よりいっそう将来像が浮かんだし、受験の際にも役立てられると思った。
- \*今日、あらためて自分が医療系の仕事に興味があることに気がついた。やっぱり、人でないといけな仕事で、やりがいがあると感じた。



## 実施病院 (参加人数227名)

施設名	日程	受入時間	参加人数
青森厚生病院	8月17日	10:00～15:00	8
国立病院機構青森病院	8月3日	9:00～12:00・13:30～16:30	18
平内中央病院	7月27日	8:15～17:00	2
あおり協立病院	7月29日、8月1日・3日	9:00～11:30・13:30～16:00	48
生協さくら病院	8月15日	9:00～11:30・13:30～16:00	11
青森慈恵会病院	7月25日～7月28日	8:30～12:30	9
板柳中央病院	7月4日	9:00～15:00	4
黒石病院	8月2日・8日	10:00～15:00	14
八戸市立市民病院	8月10日・18日	13:00～16:00	36
五戸総合病院	9月7日	14:00～16:00	2
三戸中央病院	8月2日	9:00～12:00	4
むつ総合病院	8月5日	8:15～12:00	11
大間病院	8月2日・3日	8:30～16:00	3
三沢市立三沢病院	7月8日・25日	9:00～15:00	18
十和田第一病院	7月20日・27日、8月3日	9:00～12:00	6
十和田市立中央病院	8月12日	9:30～15:30	26
公立野辺地病院	7月27日	9:00～12:00	5
ちびき病院	8月1日	10:00～15:00	2

新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で、未来のナース育成のために、様々な工夫を凝らし、高校生の受け入れにご尽力していただいた医療機関の方々へ心より感謝申し上げます。また、感染拡大に伴いやむなく中止とした医療機関の方々も準備・調整等ご尽力いただきありがとうございました。参加した高校生たちが将来看護の道へすすんでくれることを、期待します!!



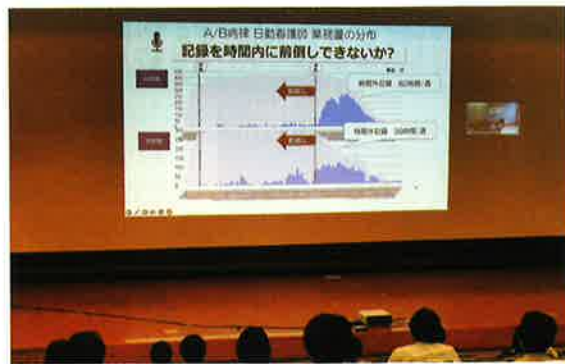
## 働き方改革推進フォーラム

### 記録を時間内に前倒しできないか？

と き 令和4年10月22日(土) 13:00～16:30

と ころ 県民福祉プラザ 県民ホール

- 就業継続可能な看護職の働き方改革の提案  
講師：済生会横浜市東部病院 院長補佐 熊谷 雅美氏
- ナースハッピープロジェクト  
～音声入力による記録時間の削減～  
講師：聖マリアンナ医科大学病院  
急性・重症患者看護専門看護師  
藤野 智子氏
- ◆ 医療向けクラウド型  
音声入力システムについて  
(株)アドバンスメディア



## 看護補助者レベルアップ研修会

と き 令和4年10月26日(水) 13:30～16:00

と ころ 県民福祉プラザ 大研修室

初めての開催でした

- 働くことの意義  
講師：青森県看護協会 会長 柗谷 京子
- 看護補助者としての医療安全について  
講師：青森県看護協会 医療・看護安全委員 野宮 恵子氏 (板柳中央病院)

### ◆ フリートーク

日頃感じていること、働くうえで困っていること、みんなに聞いてみたいこと etc



## 訪問看護推進研修会

と き 令和4年12月17日(土) 13:00～15:30

と ころ アップルパレス青森 ねぶたの間

- ICTとエコーを活用して看護の質がどう変わったか  
講師：訪問看護ステーション フレンズ 管理者 保坂 明美氏
- 青森県の事例紹介  
公済会訪問看護ステーションやまびこ 管理者 坂田千佳子氏  
ほーむおんナースステーション 管理者 雪田 昇一氏
- ◆ 情報提供  
『青森県新卒・新人訪問看護師教育プログラム』について





## 助産師活用推進事業(県受託事業)

### ◆産科医療機関看護管理者研修・交流会 &助産師の質向上研修

**とき** 令和4年7月24日(日) **ところ** ホテル青森 錦鶏の間

青森県健康福祉部永田部長、日本看護協会井本常任理事、春日井市民病院根岸看護局長からご講義、助産師へのエールをいただき、今後の青森県の周産期医療について進むべき道を共有できました。



### ◆新人助産師の人材育成に係る実態調査 ご協力ありがとうございました！

新人助産師の人材育成に関して初めての調査を実施しました。詳細は今後、HP等で公開予定です。

### ◆助産師出向事業実施中

\*助産師出向事業は個人の研修にとどまらず、所属する自施設、受け入れた施設へも大きく影響し、最終的に県全体の周産期医療にプラスの効果をもたらすことが期待できます。

青森県看護協会が初主催

## 認定看護管理者教育課程サードレベルが無事閉講しました

今年度より青森県看護協会主催で10月13日から開講した認定看護管理者教育課程サードレベル研修が12月14日に無事閉講式を迎えました。県内外から参加した16名の記念すべき第1期生の皆様、33日間の研修本当にお疲れ様でした。

これもひとえに講師の方々を始め、演習支援者の皆様、受講者を推薦して下さった施設関係者の皆様、青森県立保健大学関係者の皆様、認定看護管理者教育課程教育運営委員会委員の皆様方のご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

今回、日本看護協会から教育機関としての認定が下り

るのを待っての開講でしたので、秋から冬の開催となり、受講者の皆様には交通面で不便をおかけしました。

また、研修修了後の受講者アンケート調査から、今後の運営改善に向けて多くの示唆を得ましたので、次回に活かしていく所存です。

研修では、受講者同士で情報共有や相談をし合っ様々な課題にチャレンジしていた姿が印象的でした。今回の研修で出会えた仲間たちとの交流を今後も深めて、受講者の皆様がこれから大きく羽ばたいてご活躍されますよう心から願っております。

記：認定看護管理者教育課程専任教員 山内 留美子



閉講式の様子



受講者のみなさんと支援者で集合写真

令和5年度  
認定看護管理者  
教育課程研修  
募集案内

### ファーストレベル

【開講期間】令和5年5月16日(火)～7月14日(金) 20日間

【応募期間】令和5年1月16日(月)～2月16日(木)

### セカンドレベル

【開講期間】令和5年7月24日(月)～10月11日(水) 33日間

【インターバル】令和5年8月11日(金)～29日(火)・9月22日(金)～10月1日(日)

【応募期間】令和5年3月15日(水)～4月15日(土)

### 日本看護協会 福井会長来たる!!

令和4年11月17日(木)ホテル青森において4職能合同企画である「看護職の連携強化に向けた研修会」が開催され、82名が参加しました。

第一部は「すべての人々が必要な時に切れ目なく提供される看護を目指して」をテーマに、日本看護協会福井トシ子会長より講演して頂きました。講演では、日本においてUHC\*を達成するためには、看護職による保健医療福祉の連携強化を目指して継続的なアプローチが必要と話されました。

続いて、看護職の連携の現状と課題について、病院看護師の立場から十和田市立中央病院 福沢麻紀副看護局長、市町村保健師として弘前市役所 三上浄子総括主幹、助産師からは母子ケアハウスさくら助産院 坂野利智子院長、産業看護職として八戸西健診プラザ 中居円保健師から話題提供がありました。話題の提供に対し、様々な場で活躍する看護職から活発な意見交換がありました。

第二部では「新型コロナウイルス感染症対応看護職員等広域人材調整事業」について、日本看護協会 会長 福井トシ子氏より全国の状況、青森県看護協会 会長 梶谷京子より県協会の取り組みについて情報提供があり、日



日本看護協会 福井トシ子会長

本看護協会による派遣体制の構築と県協会が実際にどのように人材派遣に貢献したかを知ることができました。

今回の研修会では、現在の日本の医療福祉の中で看護職の役割は多岐にわたり、それぞれの役割を相互に理解し連携していくことが大切だと学ぶことができました。

記：看護師職能委員会 I 副委員長 森 あやこ

\*UHC (ユニバーサルヘルスカバレッジ) すべての人々が基礎的な保健医療サービスを、必要な時に、負担可能な費用で享受できる状態。

### 令和4年度「いいお産の日inひらかわ」開催!

青森県看護協会では、青森県助産師会主催のイオンタウン平賀で行われた「いいお産の日」イベントに、協力員として参加しました。

当日はパネル展示やベビーマッサージ、妊婦体験、血管年齢測定などを行いました。

妊婦体験では小学生の男子2名が体験してくれて「いのちの出前講座」のような機会となりました。血管年齢測定コーナーはとても盛況で、生活習慣病予防のためにも食事指導や生活の見直しを行う動機づけの一つになれたのではないかと考えています。

記：助産師職能委員会 委員 三平留衣子(青森市民病院)

11月3日は  
「いいお産の日」



## 看護師職能委員会 I 報告

### 「介護施設で働く 看護師の病院研修」について

看護師職能委員会 I では令和3年度から介護施設で働く看護師を対象に病院研修を実施しています。この研修は病院の様々な処置行為等を介護施設の看護師が理解することにより、病院で働く看護師と介護施設で働く看護師間の情報共有や連携の推進につながることを目的としています。

今年度は定員8名に対し21名の申込があり、急遽、見学先を増やし対応しました。コロナ禍にもかかわらず見学先として受け入れてくださった病院関係者の皆様、本当にありがとうございました。

研修は三八圏域の3病院、西北五圏域の3病院で行いました。見学は1日を通してシャドーイングをし、その後、私達委員が加わり、病院担当者、参加者と一緒に意見交換を行いました。

今回、担当委員として参加し、参加者が施設で看護する中で入所者が自宅に帰宅できるような支援、また、施設で最期を迎えられるよう日々最善の看護・介護を提供していることがひしひしと伝わってきました。施設看護師の役割は生活支援から多職種協働の方法や調整、家族支援等多岐に渡り、その重要性も改めて感じました。同時にいかに介護施設で働いている看護師と病院の看護師の連携が必要かということを再認識しました。

なお、本研修では昨年度参加した方を対象に、研修の目的に少しでも近づいているのかを把握するため、事後アンケートを行う予定です。この結果を基に有意義な研修となるようこれからも取り組んでいきたいと思えます。

記：看護師職能委員会 I 委員 大黒 久子（ときわ会病院）

※令和4年12月現在、三八圏域では5ヶ所の病院で実施する予定でしたが、コロナにより残り2ヶ所は延期しています。



研修の様子

### A病院での研修スケジュール

時間	内容
9:00	現地集合
9:00~ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーション</li> <li>院内散歩</li> <li>入院受け入れ</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>血糖測定・インスリン</li> <li>経管栄養 他</li> </ul>
12:00	昼食
13:00~ 14:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>カンファレンス</li> <li>連携室とリハビリ等</li> <li>多職種ミーティング</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全</li> <li>感染対策の取り組み</li> </ul>
14:30~ 15:00	意見交換
15:00	現地解散



参加者に対しこのようなパンフレットを用意してくださった病院も複数ありました

看護の日キャラクター「かんごちゃん」

## 介護福祉施設等におけるハラスメント研修会

看護師職能委員会Ⅱでは、令和2年度「青森県内の訪問看護師がうける利用者・家族からの暴力に関する実態調査」を実施し、令和3年度には組織による安全管理体制の推進を目的に日本看護協会参与（当時）の友納理緒氏を講師にお迎えし、ハラスメント研修を実施いたしました。そして3年目の今回、令和4年11月5日にはその研修を受講した事業所等に「介護福祉施設等におけるハラスメント研修会」と題して2例の事例報告をしていただきました。

健生訪問看護ステーションたまちの統括所長の加藤恵子氏より「健生訪問看護ステーションたまちにおけるハラスメント対策の取り組み状況」について、また、特別養護老人ホームハピネスながわの看護リーダー 木村美紀子氏より「ハラスメント対策の取り組み」について発表していただきました。

また、「ハラスメント対策を強化するための工夫・提案」をテーマに、関西医科大学看護学部教授 三木明子氏より、国の施策、精神障害などの補償の理解、防止対策のポイント、実施すべき訓練方法などについてリモートでご講演をいただきました。

参加者からは、「ハラスメントに対する自分自身の意識改革ができた。」「自施設の重要事項説明書やマニュアルの見直しの必要性を理解した。」などの感想が聞かれました。

自施設の取組を発表してくださった加藤氏と木村氏(左)▶



講師の関西大学教授三木明子氏

令和2年度から3年間継続した介護施設等を対象としたハラスメント対策に関する事業は一区切りとなりますが、今後は青森県内の各事業所がそれぞれ組織的にハラスメント防止に取り組み、看護職員が安心して安全に働くことができる労働環境づくりに努められることを願っております。

記：看護師職能委員会Ⅱ 副委員長

天摩 典子（東北医療福祉事業協同組合）

## 青森県委託事業

### 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応看護職員の人材確保業務実施状況

青森県看護協会は、「新型コロナウイルス感染症対応看護職員の人材確保業務」の中で、県内の病院においてスキルアップ研修を実施しています。この研修は院内での感染対策に生かしていただくことはもちろんですが、クラスターが発生した病院等への応援派遣にも役立てていただくことを目的にしています。

令和4年12月までの実施状況は以下のとおりです（令和5年3月までは研修を実施します）。

No.	実施日	実施場所	参加者数	内容
1	10月5日(水)	尾野病院	29人	講義・演習
2	10月20日(木)	弘前記念病院	10人	講師：医師及び感染管理認定看護師
3	10月27日(木)	南部町医療センター	19人	

ある感染管理認定看護師の演習では絵具を使用し、目に見えないウイルスが実際にはどこまで付着しているのか指導していました。参加者からも「絵具を用いたことでより気をつける点がわかった。」「汚れを目に見えるようにすることでわかりやすく、気を付けて脱ぐことができた。」と好評でした。

感染者数が多い状況ですが、だからこそ平時の感染対策を見直す機会にしていきたいものです。

病院での感染対策研修を希望する場合は令和5年3月までは実施可能ですので、当協会 総務課（☎017-723-2857）までお知らせください。





受賞式は宮内庁で行われ秋篠宮皇嗣妃殿下からお祝いのお言葉をいただきました。

## 令和4年度 第44回母子保健奨励賞 受賞者のご紹介

「令和4年度 第44回母子保健奨励賞」に当協会から推薦した古屋敷智美様を受賞されました。長年にわたる功績を称えとともに、今回の受賞を心よりお慶び申し上げます。

受賞された八戸市立市民病院 助産師 古屋敷様より、喜びの声をいただきましたので以下にご紹介いたします。

今回の受賞は、八戸市および周辺地域の母子とご家族への医療や保健活動に携わる関係者全員の栄誉と受けとめており、大変うれしく思っております。諸先輩方をはじめ、関係機関の皆様のご指導、ご支援、そしてケアの連携にとどまらず、取り組みを進める際には施設や地域を超えてお力を頂いているおかげであり、心より感謝申し上げます。

支援を要する妊産婦さんが増えており、妊娠・出産・育児期における包括的なケアの大切さを痛感しております。今後は、ケアを必要としている方々にケアと安心を届けられるよう体制や連携の強化に努めてまいりますので、宜しくお願い致します。



古屋敷 智美様

## 消防避難訓練

令和4年11月21日(月)に、青森県看護協会が入居している県民福祉プラザで消防避難訓練が行われました。当訓練は年に2回実施していますが、プラザ入居団体のみなさんは本番さながらの緊張感をもって速やかに避難していました。

いざという時には普段やっていることしかできないと言われており、そのいざという時は明日かもしれませんので、日頃の訓練はとても大切です。県民福祉プラザでは今後、水害を想定した避難訓練を実施していく予定とのことです。



## お知らせ

令和3年7月、看護「青い森」109号に映画「じよっぱり—看護の人 花田ミキ」制作に関するチラシを同封いたしました。このたび、プロデューサー鎌倉幸子様から、「コロナ禍の影響により撮影が延期されていましたが、2024年の公開を目指しています。中止にはなっておりませんので、ご安心ください。」との情報をいただきましたので、お知らせいたします。



## 東青支部 秋の研修会を終えて

今回、東青支部では退院困難事例における退院支援および他職種協働の実践について講演とグループワークを行いました。青森県立保健大学から教授の反町吉秀先生、助教の葛西孝幸先生を講師としてお招きし、退院困難事例についてグループワークを行いました。

参加者には看護職だけではなく、社会福祉士も参加しており、グループワークでは活発な意見交換が行われました。また、他施設間での取り組みを



講師からのアドバイス

知る機会ともなり、とても有意義な研修会となりました。今後も看護実践の場に役立つような研修会を開催していきたいと思います。

記：幹事 小泉 恵  
 山上 順矢  
 坂本 麻美



グループワーク（青森新都市病院 講堂）参加者53名

## 中弘南黒支部 学習会でリフレッシュ

11月5日(土)「ストレスを解消しよう！体を動かして心も体もリフレッシュ」をテーマに秋の学習会を開催しました。高地トレーニングスタジオSAKURAS代表の小林雅貴氏を講師に迎え、24名の看護職の方が参加しました。

前半はストレスに関する講義、後半は2種類のストレッチを体験しました。ストレッチでは凝り固まった体のあちこちから時折悲鳴が…！

終わる頃には体はぽかぽかと心地よく、脳の海馬も活性化!!心も体も脳もリフレッシュでき一石三鳥の学習会となりました。一度きりの人生、忙しい毎日ですが健康を第一に頑張りましょう。

記：幹事 工藤 紀子



ストレス解消の講義に興味津々



みんなで 月のポーズ

## 三八支部 うさぎ年にジャンプ!

三八支部では昨年10月15日から5日間、ポータルミュージアムはっちで開催された健康パネル展に参加しました。「一人一人が心がける感染予防対策」をテーマにパネルを作成。感染を防ぐためのポイントを分かりやすく市民の皆

様へ伝え、1,062人の方に足を運んでいただきました。

また、11月26日には八戸市津波防災センターで2年ぶりの看護実践報告会を開催しました。4施設から日々の看護実践の報告があり、活発な意見交換をする事ができました。参集人数を縮小しての開催でしたが、有意義な時間を持つ事ができました。

今年もさらに頑張っていきたいと思います。

記：地域活動実行委員  
 庭野 正子  
 事務局記録係  
 小山 祐子



パネル展と実践報告会の様子



## 西北五支部

### 令和4年度秋の研修会

10月22日(土) 地域で取り組む救急医療(病院編・施設編・在宅編)～急変時の対応と報告のあり方～をテーマに、八戸市立市民病院の救急看護認定看護師の神田新一さんを講師に迎え、リモートでの開催となりました。

緊急度を早く見抜き、迅速な対応をすること、モニターを見るのではなく患者様を看ること、普段からのコミュニケーションが大切とのご指導をいただきました。

家族対応についても考える機会となり有意義な時間で、急変対応が苦手という看護師が多く、



秋の研修会(オンライン)

心強く貴重な実りあるご講演となりました。

記:記録係 丸岡 幸子

## 下北支部

### 下北支部研修会開催

令和4年12月3日(土)公済会館において下北支部研修会が開催されました。

5か年計画で看看連携促進を目的とし、今年度は「訪問看護師からのメッセージ」をテーマにむつ市内の訪問看護ステーション、むつ総合病院、大間病院の7施設から発表してもらいました。

訪問看護スタッフと利用者、家族との信頼関係の大切さ、多職種との情報の共有と協働の必要性を学ぶことができました。

下北の広い対象地域を訪問看護師の使命で利用者、家族を笑顔にするため日々奮闘しています。



現状説明する訪問看護師

来年度は、第3弾「施設の看護師から」がテーマになります。

記:広報担当 菊池由紀子

## 上十三支部

### 看護ケア検討会開催

令和4年10月29日(土)、上十三支部看護ケア検討会が開催されました。今年度もコロナウイルス感染予防の観点から、リモートでの開催となりました。春の研修会に引き続き、アドバンス・ケア・プランニング(以下、ACP)をテーマとし3人の先生から貴重なご講演を頂くことができました。

参加者のアンケートでは内容が大変良かったと高評価を頂くことが出来ました。ご講演頂いた先生方、視聴頂いた会員の皆様、大変ありがとうございました。



看護ケア検討会 事例検討の様子

記:幹事 永倉 裕樹

人生100年時代の今  
定年前に考える!!

## セカンドキャリアセミナー

11月3日(木)に県民福祉プラザで開催され、定員を上回る40代から70代の看護職53名の参加がありました。

講演では、「看護職として、セカンドキャリアを考える」と題して青森県立保健大学名誉教授の上泉和子氏から、ご自身の経験を交えながら「8つのキャリア・アンカー」についてお話ししていただきました。

「自身のキャリア・アンカーとは」、「锚をどこに落とし込むのか、今後を考えるきっかけとなった」等、多くの方がセカンドキャリアの認識を深める機会になったようでした。

また、話題提供では、お二人のプラチナナースの方にお話しいただきました。看護職として様々な

職場を経験し、今なお現役の看護職としてご活躍の高野紀子さん、塩崎静子さんからの話題提供では、「看護職はどの分野でも必要とされている」「自身の元気の源は仕事をしているから」「仕事に巡り合えるには、それまでの人間関係があってこそ」等、ユーモアを交えながらの前向きな発表が、受講者の方々に明るい刺激を与えたようでした。



上泉 和子氏



塩崎 静子氏



講演後には、「年齢により職場が狭まりキャリアを活かせない」、「更年期うつについて」等プラチナ世代が抱える問題についても意見交換が行われました。

少子高齢化の影響も受け、プラチナナースの活躍が益々期待される中、実際の経験や疑問を話し合う時間は、受講者の仕事と人生を見直すきっかけになったのではないのでしょうか。



高野 紀子氏

## 訪問看護師ブラッシュアップ研修 「在宅における摂食・嚥下障害看護」

12月2日(金)に県民福祉プラザで、青森慈恵会病院摂食・嚥下障害看護認定看護師の丹藤淳氏を講師に開催



しました。

講義内容はご飯を食べること、知識としての「飲み込み(摂食・嚥下)」、高齢者の摂食嚥下の特徴他で、病院内でのケアの実際や経験談などを盛り込んだ楽しい研修でした。

参加者は、高齢者になったつもり?でお茶やゼリーをいただき、「むせ」も体験しました。参加者からは自分の家族の介護にも役立てたい、ポジショニングや食べる意味を改めて考えさせられたという感想が聞かれました。



丹藤 淳氏



## 看護管理者と看護師等学校養成所職員との情報交換会

コロナ禍で実習に影響を受けた新卒看護職を皆で育てるよう、就業後の支援体制を確立することを目的に、10月1日(土)、ホテル青森で開催しました。

情報提供では、教育現場からは、弘前学院大学 看護学部学科長・教授の佐藤厚子氏が、臨床現場からは青森新都市病院 看護部長 角田つね氏が「コロナ禍3年の新人教育の現状」について、お話しくださいました。また、ナースセンターからは、「新卒・2年目看護職カフェ」の開催状況について情報提供しました。

講演は、「地域で新卒看護職を育てる仕組み」と題して、社会医療法人緑社会 金田病院（岡山県真庭市）医療安全管理部長の保科英子氏から「まにわナーシング・カレッジ」の取り組みについて話されました。

参加した45名からは、コロナ禍における看護基礎教育、新人教育の実情を知ることができた、地域定着や地



佐藤 厚子 氏



角田 つね 氏

域でのネットワーク構築の必要性は自覚しつつも、うまく進められないでいる中で、まにわの取組みに感銘を受けた、地域で育てることの重要性を感じた等、多くの意見が聞かれました。



保科 英子 氏

「まにわナーシング・カレッジ」とは、真庭市内の医療機関等に就職した新卒看護職を対象に、真庭市内の施設を辞めないで継続して働き続けていくために、日本看護協会のクリニカルラダー1に到達することを目標に掲げ、真庭市全体で自律した看護師を育てていくことを目的にしている。

3年間計画で年に3～4回の研修を企画している。大学等養成校と連携し、2021年度からは岡山県看護協会 真庭支部の年間事業として位置づけられている。

## キャリア支援セミナー「ママ・パパCafé」



10月1日(土) ホテル青森にて「ママ・パパCafé」を開催しました。

体験談発表では、家族や職場の協力を得て仕事と家庭を両立させているママナースさん、育児休業制度の活用や家族で役割分担しているパパナースさんに、リモートで参加していただき、お話をうかがいました。お二方を中心に、8名のママ・パパナースの皆さんで「子供の急な発熱への対応は」、「育休や時短勤務を取得する時の自身のキャリアアップについてどう対処しているか」等具体的な話題で盛り上がりを見せました。家族4名（妻1名、子ども3名）の参加も見られ、賑やかな交流会となりました。

その後のハーバリウム体験では、講師の先生から説明を受けながら、材料選びから完成まで、思い思いのハートの小物入れづくりを楽しみました。

慌ただしい日常に、少しの憩いと働き方へのヒントが得られたようです。



ママナース  
平内中央病院 向井葉さん



パパナース  
弘前大学医学部附属病院 毛内究さん

**注目**

# 病院新卒看護職離職率が11.3%と大幅にアップ! 退職理由の1位は、自分の健康（主に精神的理由）

## 令和4年度看護職の需要及び離職状況調査から

毎年実施している「看護職の需要及び離職状況調査」の調査結果の中から、気になるデータについて、お知らせします。  
(病院送付数92、回収73、回収率79.3%)

### 看護職の離職（正規雇用）

#### ■退職数と離職率（全体）

	施設種別	看護職員数	退職者数	離職率 (前年離職率)		(再掲)		
						新卒	既卒	定年
1	病院	8,336人	623人	7.5%	(6.9%)	36人	331人	87人
2	診療所	1,184人	87人	7.3%	(6.2%)	4人	61人	14人
3	介護老人保健施設	331人	40人	12.1%	(9.5%)	0人	31人	3人
4	特別養護老人ホーム	287人	27人	9.4%	(13.9%)	0人	21人	1人
5	訪問看護ステーション	388人	50人	12.9%	(10.2%)	0人	40人	4人
計		10,526人	827人	7.9%	(7.2%)	40人	484人	109人

#### ■退職理由（新卒以外）上位3位

	項目	人数	割合
1	他の病院・職場への興味 (看護職として)	184人	19.1%
2	自分の健康 (主に身体的理由)	106人	11.0%
3	自分の健康 (主に精神的理由)	63人	6.5%

※定年退職を除く

全体の離職率は7.9%と昨年度の7.2%より上昇した。特別養護老人ホーム以外の施設で上昇している。特に、訪問看護ステーションは、2.7%上昇した。

今回の調査では、初めて既卒看護職の退職（経験があつて入職したが1年以内での退職者）を調べたが、離職率は病院で53.1%、他施設では70～80%となっており、定着につながっていない。

## 新卒看護職の皆さんへのアドバイス【第2弾】

新卒看護職には、多くの身体的、精神的ストレスがかかっています。でも、自分だけではありません。同期は、まさに今、同じ悩みを抱えています。そして、先輩看護師や管理職の上司もそのような経験をしてきました。今回はそのストレスを乗り越えるための**コツ**をご紹介します。

### ◆プリセプターとの人間関係が辛い

1年目のうちは、目の前の業務に精一杯で周囲に気を遣う余裕がなく「愛想がない」など誤った印象を与えてしまうこともあるようです。他にもプリセプターとの相性や同期との技術面の差に悩む看護師も少なくありません。人間関係は新人看護師に限ったことではありません。

人間関係を円滑にするためには信頼関係を築くことが大切です。話しかけにくい先輩であっても挨拶や業務の報告・連絡・相談を徹底して行うようにしましょう。また、仲の良い先輩であっても業務中は言葉遣いに注意が必要です。当人同士が良くても周りのスタッフに悪影響となることもあります。

どの職場にも、少なからず自分が苦手とする看護師はいるものです。苦手な人と付き合う対人スキルを養うことも必要です。

### ◆急変に自信がない

勤務して3か月で急変に自信がないのは当然です。むしろそのような気持ちで仕事をしていることの方が大事です。今後、勤務先の施設の中で急変時の看護の研修会が行われるでしょう。自信が持てるまで繰り返しトレーニングしてください。先輩看護師でも自分のスキルを維持するために、体に染み込ませるまで、繰り返し学習しています。

また、不安を解消するために、今自分ができるところを前もって考え、シミュレーションしておくこともお勧めします。自分の勤務帯で、何ができるかを事前に先輩看護師と相談し役割分担しておくこと、急変しても慌てずに対応できます。

## ■施設別退職数と離職率（新卒）

	施設種別	看護職員数	退職者数	離職率	前年離職率
1	病院	319人	36人	11.3%	5.7%
2	診療所	5人	4人	80.0%	100.0%
3	介護老人保健施設	0人	0人	0.0%	0.0%
4	特別養護老人ホーム	1人	0人	0.0%	100.0%
5	訪問看護ステーション	0人	0人	0.0%	100.0%
	計	325人	40人	12.3%	7.5%

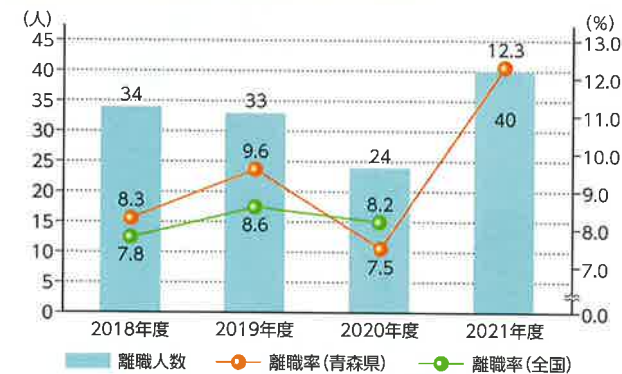
## ■退職理由（新卒） 上位3位

	項目	人数	割合
1	自分の健康 (主に精神的理由)	16人	34.8%
2	他の病院・職場への興味 (看護職として)	7人	15.2%
3	自分の適性・能力への不安	5人	10.9%

## ■離職率（全体）過去3年の推移



## ■離職率（新卒）過去3年の推移



## ■【病院規模別新卒離職者（正規雇用）】

病院規模	採用者数	離職者数	離職率
100床未満	21人	1人	4.8%
100床以上300床未満	90人	13人	14.4%
300床以上500床未満	101人	9人	8.9%
500床以上	107人	13人	12.1%
計	319人	36人	11.3%

新卒離職率は、12.3%と昨年度より4.8%悪化した。特に病院においては、新卒採用看護職数は昨年度とほぼ同数であるが、退職者数は倍増し、離職率も5.7%から11.3%と上昇した。

病院の規模別にみると、100床以上300床未満の病院で14.4%、500床以上の病院で12.1%の順に高くなっている。

退職理由の上位は、昨年度上位に挙げられなかった自分の健康（主に精神的理由）が約35%を占めており、大きな課題と考える。2位は他の病院・職場への興味（看護職として）、3位は自分の適性・能力への不安で、昨年度も上位に挙げられていた。

## ◆家での勉強がづらい

ただでさえ毎日の業務で疲弊しているのに、学習することが多すぎる。この苦痛はいつまで続くのだろうか…、と不安になることもあります。また仕事をしていると学生の頃のようにまとまった時間を確保することが難しくなります。そのため、その日にあったことをメモして1日の終わりに復習する習慣を新人時代から身に付けておくことが重要です。

当たり前のことですが、教えられたことのメモを取る、復習をすることが大切です。知識不足は経験と勉強でしか補う

ことができません。コツコツ積み上げが、今後の成長を約束します。毎日勉強することの意味は、何年か経ったあとに気づくことが多いものです。

**悩みがある方は「新卒看護職離職防止相談窓口」もご活用ください！**

専用電話：080-8201-3407

(毎週 火・金曜日 13:00~16:00)

専用E-mail：support@egao-park.net(24時間受付)

青森県看護協会では、病院の看護管理者を対象に「事業報告会」を開催いたします。

申込方法等詳細につきましては、当協会ホームページ (<http://egao-park.net/>) をご参照ください。

- 日 時 令和5年2月15日(水) 13:30~16:00 ● 内容 【報告Ⅰ】テーマ「トッパKTSの始まり」(仮)
- 形 式 zoomを利用したオンライン開催 講 師：十和田市立中央病院 看護局長 築場 理利子 氏
- 対 象 県内病院の看護管理者、 青森県看護協会支部役員等 【報告Ⅱ】新型コロナウイルス感染症県内応援派遣の実施状況  
報告者：青森県看護協会 専務理事 大鰐 恭子
- 参加費 無料 【報告Ⅲ】離職状況調査緊急報告  
報告者：青森県看護協会 常務理事 前田 隆子
- 申込締切 令和5年2月3日(金)

重要

## 次年度以降における研修等のお申込みについて

令和5年度以降、研修・交流会等、当協会で開催する各種事業につきましては、全ての申込受付を研修等管理システム「manaable（マナブル）」にて行います。利用にあたり以下についてご注意ください幸いですようお願いいたします。



- 利用者はmanaableのアカウントが必要になります。(下記ホームページからアカウントの登録を)
- 施設とりまとめで申し込む場合は、施設代表者アカウントの本登録が必要です。  
※施設代表者用の仮アカウントは令和4年8月に各施設様にお送りしております。ご不明な場合は青森県看護協会までお問い合わせください。
- 施設とりまとめでお申込みされた場合も、申込者それぞれのアカウント登録が必要です。
- manaable登録情報は会員管理システム「ナースシップ」と連携しております。会員の方の登録情報はmanaableからは修正できませんので、キャリアナース等でナースシップの会員情報を変更願います。  
※ナースシップの情報がmanaableに反映されるまで最長1週間程度かかります。

【manaableホームページ】 <http://egao-park.net/manaable/>  
【manaable問い合わせメールアドレス】 [manaable@egao-park.net](mailto:manaable@egao-park.net)

## 看護技術のオンライン教育・研修に、すぐに導入できる!

# e Nurse Trainer

## eナーストレーナー

NANDA-I  
講義動画  
新規収録!

- 日本看護学校協議会編集の指導案や模擬カルテで、学生の実習をサポート!  
(教育機関専用コンテンツ)

- 厚労省ガイドラインに沿った技術項目リストを収録!
- 施設オリジナルの研修内容も設定可能です!



無料トライアル受付中!

詳しくは「eナーストレーナー」特設サイトをご覧ください



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <https://www.igaku-shoin.co.jp>  
[販売・PR部] TEL:03-3817-5650 FAX:03-3815-7804 E-mail:sd@igaku-shoin.co.jp

## 編集後記

広報の分野でもデジタル化が進み、インターネットを利用したオンラインメディアが台頭してきています。青森県看護協会もSNS等での発信を検討しております。引き続き「看護 青い森」の充実に励んでまいりますので、本年もどうぞよろしく願いいたします。

(広報出版委員会・看護協会役員一同)

## 仕事をしながらマイペースで学べます!

BS放送やインターネット等、オンラインで学ぶ

看護師の特定行為研修  
共通科目(講義・演習部分)全科目開講中!!  
～省令改正後の新基準にも対応～

放送大学は正規の通信制大学です。入学は、4月と10月の年2回。看護師・准看護師のみさんのキャリアアップを応援します。

学びたい  
大人たちへ。

放送大学

資料をご請求ください。[放送大学] [検索]

青森学習センター TEL 0172-38-0500  
八戸サテライトスペース TEL 0178-70-1663

